

委員会 通信 第25回

空港対策特別委員会

空港対策特別委員会委員

委員長	菅澤 昌則	副委員長	土井 秀敏
委員	加瀬 芳廣	委員	石渡 悦子
委員	高坂 恭子	委員	山口 清
委員	木川 広昭		



国道51号十余三トンネル協の「防音堤」でB滑走路への着陸機の騒音を体感

「防音堤」、「ナリタ5番街」を視察

今年度は多古町議会の議員も大きく入れ替わり、空港対策特別委員会の委員も新メンバーで5月から活動をしております。主な活動内容は、航空機による騒音対策や芝山鉄道利用者駐車場関係などです。そして最大の仕事は成田空港と多古町の共存・共生・共栄をはかることです。

9月定例会会期中の9月13日には、成



ニューヨーク5番街をイメージした免税店街「ナリタ5番街」

田空港の現状を知るため、空港内の視察を行いました。成田国際空港(株)からは、震災時に旅客数の急激な落ち込みがあったが、7月以降回復傾向にあるとの説明がありました。その後、第2旅客ターミナル本館の免税店街「ナリタ5番街」、到着通路において海外からのお客様を和の演出(蒔絵、磁器、竹など)で迎える「和的整備箇所」の視察をしました。

厳しいセキュリティ チェックを体感

空港内エリアでは、厳重な検査を受け、航空機の安全運行のためセキュリティの厳しさに触れ、改めて世界への玄関口であることを認識いたしました。また、B滑走路、への字誘導路の改良が行われる「西側誘導路工事現場」、「十余三防音堤」を視察し、工事の進捗状況の説明を受けるとともに、着陸機の騒音状況を体感してまいりました。

多古町は空港の東側に位置するため成田市、芝山町のように開発も進んでいません。また多古町には騒音地区もありませんので、今後も多古町の皆さんのために調査研究をしてまいります。

多古町議会には、常任、特別、議会運営の各委員会合わせて6つの委員会があります。このコーナーは各委員会の委員長が活動の様子をお伝えしています。

表紙のことば

秋空のもと行われた中央保育所運動会。3歳児親子競技でお父さんに抱えてもらいアンパンマンのようにほじける笑顔が空を飛びます。

編集後記

先に開催されました9月定例議会では、3月11日の大震災より半年が経過しましたが、震災関連についての事柄も議場で質問や審議として多くが取り上げられました。いまだ震災のつめ跡が残るなか、大震災がもたらした大きな被害とそれらに学ぶ教訓を改めて思い、また、会期直前には台風12号が甚大な被害をもたらした自然災害に対する行政の在り方を深く考えさせられる議会となりました。◆さて、この号で2度目の編集となりますが、正しい表記の仕方など4人の新人編集委員は悪戦苦闘しております。日常生活では慣例であることが、違っているなど大変勉強になり、初めて英語を学習したときの様な(全く話せませんが)スリルもございます。

議会広報特別委員会

副委員長 勝又一徳

12月定例会は、12月7日(水)から開会予定です。ぜひ、傍聴にお出かけください。